

漁船排出CO2の削減を目的としたICTを活用した定置網漁支援に関する研究開発

和田 雅 昭(公立はこだて未来大学)

研究開発期間: フェーズ I : 平成26年度

フェーズ II : 平成27年度~平成28年度

潮が速いな
今日は陸で仕事



水揚げが見込めないな
今日は休漁



今日も大漁ね

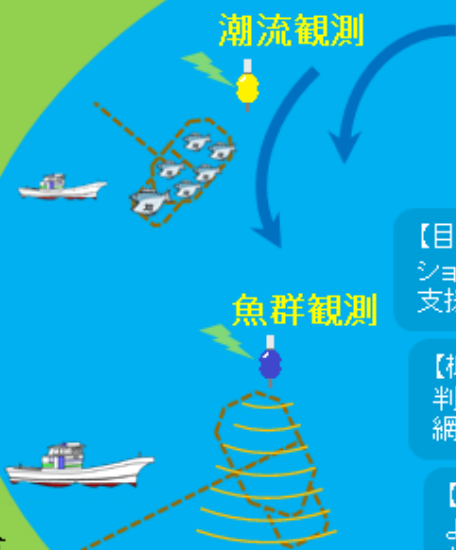


ICTのおかげだね



環境にもやさしいね

予測を信じて
今日は沖で仕事



【目的】 ICTを活用した漁業の効率化という視点で、水産業におけるグリーンイノベーションに取り組む。本研究開発では定置網漁を対象として、効率的な網起こし(漁獲)を支援することで、CO2排出の削減を目指す。

【概要】 センサネットワーク技術により定置網内の魚群を可視化し、魚影画像と魚種判別、漁獲量推定の結果を出漁判断の指標として漁業者に提供することで効率的な網起こし(漁獲)を支援する。平成28年度までに出漁回数の20%減を目指す。

【成果と意義】 効率的な漁業生産が実現することでCO2排出が削減し、地球温暖化による海水温の上昇に歯止めがかかり、生産コストの縮減と相俟って持続可能な水産業が実現する。その成果は、エネルギー問題、食料問題、環境問題の解決に寄与する。

CO₂排出
20% cut

すごいな
期待通りの漁獲だ

